

令和4年度 経営協議会（第2回）議事要録

日時 令和4年6月3日（金）13時30分から15時03分

場所 3号館2階第1会議室

出席者 【委員】 森迫学長（議長）

赤松委員、位高委員、奥村委員、京藤委員、材木委員、鈴木委員、
西本委員、古川委員、
小野委員、吉本委員、小酒井委員、乾委員、日高委員、寶珍委員、
増田委員、亀井委員

【陪席者】 清水顧問（Web出席）、佐藤監事、総務企画課長、人事労務課長、
会計課長、施設環境安全課長、
学生支援・社会連携課長（Web出席）、入試課長（Web出席）

議事に先立ち、令和3年度第6回及び令和4年度第1回の議事要録について確認が行われた。

議題1. 中期目標の達成状況報告書（第3期中期目標終了時）について

小酒井総務担当理事から、中期目標の達成状況（第3期中期目標終了時）について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後、文言等の修正が生じた場合には学長に一任することとされた。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

- ・ オープンファシリティセンターは電波暗室以外にも設備、機器等を保有しているのか。
→学内の装置を一元管理する研究基盤設備統括部局として、オープンファシリティセンターを本年度新設したところである。本センターは、様々な分野の解析・評価装置等を保有している。
- ・ 各設備の学外利用状況はどのようになっているか。
→電波暗室の利用実績が突出して多い。
- ・ どのような設備を大学が保有しているのか、学外にアピールするべきと考える。
→設備を学外から利用してもらうことができるよう、昨年度に規則整備をした。引き続き、設備の学外利用を促進していきたい。
- ・ 近年、高度な専門性を有する人材が企業で減りつつあるように感じる。企業から見ると、大学教員のプロフェッショナルな知見は魅力的である。
→共同研究よりも気軽に、大学教員の知見を感じてもらえることができる制度として学術指導がある。共同研究はもちろん、学術指導の制度を企業等に対してアピールしていきたい。
- ・ 設備の保守に費用が必要になるため、保守費用を勘案した利用料金を設定する必要があると考える。
→電波暗室については、保守費用の積算に基づいて利用料金を算出している。また、他の設備においても、保守費用の積算に基づいて利用料金を算出している。

議題 2. 第 3 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

小酒井総務担当理事から、第 3 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後、文言等の修正が生じた場合には学長に一任することとされた。

議題 3. 令和 3 事業年度決算について

小酒井財務担当理事から、令和 3 事業年度決算について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後、文言等の修正が生じた場合には学長に一任することとされた。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

- ・ 電気料金の高騰が続いているが、目的積立金を電気代に充てることはできないのか。
→目的積立金は、文部科学省に報告した目的に沿って支出する必要があるため、電気代に充当することは困難である。電気代高騰への対応策については、国立大学協会から文部科学省に要望してもらうよう、先日申し入れをしたところである。

議題 4. 令和 5 年度概算要求の概要について

小野大学戦略担当理事及び小酒井財務担当理事から、令和 5 年度概算要求の概要について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後、最終的な概算要求事項や要求順位の決定については学長に一任することとされた。

- ・ 未来構想を担うチームに学生や大学院生は含まれているのか。
→教員の意識改革に取り組む必要があるため、現在のところ教員のみでチームを構成している。今後は、学生や大学院生をチームに巻き込んでいきたい。
- ・ 新しい技術が社会に受け入れられるには、人文社会的な知見を有した人材が技術を「翻訳」する必要があるのではないか。
→得られた技術や知識を「編集する」役割はデザイン学の人材が担えるのではないかと考えている。概算要求とは別枠で、そのような人材を確保したいと思う。

議題 5. 役員期末手当について

小酒井人事労務担当理事から、役員期末手当について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項 1. 第 4 期中期目標・中期計画について

学長から議案書に基づき報告があった。

報告事項 2. 大学機関別認証評価の評価結果について

小酒井総務担当理事から議案書に基づき報告があった。

報告事項 3. 令和 3 年人事院勧告に基づく国立大学法人京都工芸繊維大学給与規則等の一部改正について

小酒井人事労務担当理事から議案書に基づき報告があった。

報告事項 4. 令和 4 年度入試の実施状況について

寶珍入試担当副学長から議案書に基づき報告があった。

報告事項5. 令和3年度卒業・修了者の進路状況について

寶珍学生支援担当副学長から議案書に基づき報告があった。

配付資料

- 資料1 令和3年度第6回経営協議会議事録（案）及び
令和4年度第1回経営協議会（書面）議事録（案）
- 資料2 中期目標の達成状況報告書（第3期中期目標終了時）（案）概要等
- 資料3 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）概要
- 資料4-1 令和3事業年度決算概要（案）
- 資料4-2 令和3事業年度財務諸表（案）
- 資料4-3 令和3年度決算報告書（案）
- 資料4-4 令和3事業年度事業報告書（案）
- 資料5 令和5年度概算要求の概要（案）
- 資料6 役員期末手当について（案）
- 資料7-1 国立大学法人京都工芸繊維大学 第4期中期目標
- 資料7-2 国立大学法人京都工芸繊維大学 第4期中期計画
- 資料8 大学機関別認証評価の評価結果について
- 資料9 職員給与規則等の改正の概要
- 資料10 令和4年度入試の実施状況について
- 資料11 令和3年度卒業・修了者の進路状況について
- 参考資料 令和4年度経営協議会スケジュール等